

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1287 号	氏名	今村 弥生
学位審査委員	主査 田中 悟郎 副査 青柳 潔 副査 岩永 正子		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、小学生を対象に、日常生活様式と潜在的な抑うつ症状との関連を明らかにしようとしたもので、目的は十分妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>佐世保市内の小学 4～6 年生全数 (2055 名) を対象に自記式質問票調査を実施した。調査項目は、基本属性 (性、年齢、学年、家族構成)、日常生活様式 (食事、睡眠、勉強時間、その他)、抑うつ症状評価 (Birlson Depression Self-Rating Scale for Children :DSRSC-J) であった。DSRSC-J を従属変数としてロジスティック回帰分析によって解析したもので、研究方法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>回答が得られた 1961 名を対象に解析した結果、抑うつ症状 (DSRSC-J) は、女子、年齢、午後 11 時後の就寝時間、朝食未摂取、不定期な夕食時間、運動クラブ活動への不参加、自宅での勉強時間 (1 時間未満) と有意に関連していた。子どもへの支援には、これらの関連要因への配慮が必要であると推察された。</p>			
<p>以上のように、本論文は、子どものメンタルヘルスへの支援に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			